



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月10日
東

上場会社名 株式会社星医療酸器 上場取引所
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星 幸男
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 後藤 勇治 (TEL) 03(3899)2101
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	10,971	3.1	1,372	△1.7	1,429	△2.1	964	△3.0
2024年3月期第3四半期	10,644	8.2	1,396	11.1	1,460	13.1	994	14.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,059百万円(△19.3%) 2024年3月期第3四半期 1,312百万円(64.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	309.28	—
2024年3月期第3四半期	319.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	23,579	18,213	76.0
2024年3月期	23,037	17,372	74.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 17,923百万円 2024年3月期 17,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2025年3月期	—	35.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	1.5	2,010	2.5	2,050	0.6	1,420	1.9	455.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社テイ・エム・シー、除外 2社(社名) 株式会社星医療酸器関西
株式会社星医療酸器東海

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	3,420,000株	2024年3月期	3,420,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	300,852株	2024年3月期	300,852株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	3,119,148株	2024年3月期3Q	3,115,793株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の一部に足踏みが残るものの緩やかに回復しております。先行きにつきましては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、ウクライナや中東地域をめぐる国際情勢、金融資本市場の変動等の影響にも十分注意する必要があります。

このような環境のもと、当社グループは取扱商品・サービスの安定供給とお取引先様と従業員の安全確保を最優先に事業を継続し、医療・介護・福祉分野において企業としての社会的責任を果たしてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は10,971百万円（前期比3.1%増）、営業利益は1,372百万円（前期比1.7%減）、経常利益は1,429百万円（前期比2.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は964百万円（前期比3.0%減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門での主力商品であります医療用酸素・医療用二酸化炭素の出荷量は堅調に推移いたしました。世界情勢を反映したエネルギーコストの上昇に伴う材料・仕入価格ならびに運送経費の上昇につきましては、市況を見ながらコスト上昇分を鑑みた適正価格への変更に注力し交渉を進めてまいりました。また円滑な組織体制づくりや物流・運送業界における2024年問題に対応すべく人的資源の拡充にも努めてまいりました。

これらの結果、売上高は2,939百万円（前期比4.3%増）、セグメント利益は453百万円（前期比7.7%増）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、国の施策である在宅医療への推進を受け、患者様と医療機関のニーズを第一優先にお応えすると共に、きめの細かい営業活動の継続により「HOT（在宅酸素療法）」、「CPAP（持続陽圧呼吸療法）」共に好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は4,988百万円（前期比6.0%増）、セグメント利益は631百万円（前期比6.9%増）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療機関に対する医療用ガス設備や消火設備に関する配管工事の施工に加え、配管設備の保守点検業務を行っております。医療用ガス設備工事は上期に大型物件の完工もあり好調に推移いたしました。配管設備の保守点検業務におきましても安定した売上を確保しております。

これらの結果、売上高は1,184百万円（前期比0.8%減）、セグメント利益は165百万円（前期比25.7%減）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連機器のレンタル及び販売部門において、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業活動を図ることによりレンタル売上ならびに販売においても順調に推移いたしました。

また、訪問看護事業所は、都内3拠点を事業基盤として地域へのPR活動強化による認知度アップとスタッフの増員など運営体制の充実を図り、順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は879百万円（前期比0.9%減）、セグメント利益は33百万円（前期比17.1%増）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）におきまして、24時間看護師在駐や地元医療機関との連携の更なる構築を図り、高付加価値サービスの提供と、人材育成の体制を強化いたしました。また、入居者様の多様なニーズを把握したうえで、感染症対策を最重視した運営を徹底することで入居者様、ご家族様への「安心」「安全」をお届けし、入居率の向上に努めました。

通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）、「あしつよ巣鴨」（東京都豊島区）、「あしつよ王子」（東京都北区）におきましても、感染症対策に留意しつつ、地元密着型のサービスの提供と顧客ニーズの多様化に対応した稼働率アップを図りました。

これらの結果、売上高は251百万円（前期比4.3%減）、セグメント損失は6百万円（前期セグメント利益16百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は23,579百万円(前連結会計年度末比541百万円増)となりました。これは主に、流動資産のその他のうち立替金が114百万円、土地が121百万円、有形固定資産のその他のうちリース資産が89百万円、投資有価証券が178百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は5,365百万円(前連結会計年度末比298百万円減)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が310百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は18,213百万円(前連結会計年度末比840百万円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が746百万円、その他有価証券評価差額金が97百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,755,745	9,780,542
受取手形、売掛金及び契約資産	2,810,783	2,598,025
棚卸資産	215,897	332,503
その他	95,445	216,674
貸倒引当金	△2,566	△412
流動資産合計	12,875,305	12,927,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,423,470	1,431,579
土地	3,513,215	3,634,607
その他（純額）	1,197,796	1,449,669
有形固定資産合計	6,134,482	6,515,856
無形固定資産		
投資その他の資産	185,554	153,739
投資その他の資産		
投資有価証券	2,765,228	2,943,725
その他	1,077,969	1,038,743
貸倒引当金	△1,324	△368
投資その他の資産合計	3,841,873	3,982,099
固定資産合計	10,161,911	10,651,695
資産合計	23,037,216	23,579,029

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,692,869	2,382,786
未払法人税等	363,584	184,611
賞与引当金	224,700	93,200
その他	1,142,417	1,340,493
流動負債合計	4,423,572	4,001,091
固定負債		
役員退職慰労引当金	759,450	824,010
長期預り保証金	5,145	5,145
その他	476,117	535,285
固定負債合計	1,240,712	1,364,440
負債合計	5,664,284	5,365,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	563,587	563,587
利益剰余金	16,094,993	16,841,039
自己株式	△850,111	△850,111
株主資本合計	16,244,649	16,990,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	798,391	895,518
退職給付に係る調整累計額	54,901	37,386
その他の包括利益累計額合計	853,293	932,905
非支配株主持分	274,989	289,896
純資産合計	17,372,932	18,213,498
負債純資産合計	23,037,216	23,579,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	10,644,544	10,971,215
売上原価	5,315,254	5,425,606
売上総利益	5,329,290	5,545,608
販売費及び一般管理費	3,933,010	4,173,284
営業利益	1,396,280	1,372,324
営業外収益		
受取利息	4,350	8,199
受取配当金	24,786	38,304
受取家賃	8,887	6,596
仕入割引	3,063	4,108
その他	33,342	8,068
営業外収益合計	74,430	65,277
営業外費用		
貸倒損失	10	981
支払利息	3,730	3,390
賃貸原価	1,269	1,269
その他	5,543	2,278
営業外費用合計	10,553	7,918
経常利益	1,460,157	1,429,683
特別利益		
固定資産売却益	5,160	945
ゴルフ会員権売却益	2,659	—
特別利益合計	7,819	945
特別損失		
固定資産除却損	0	892
特別損失合計	0	892
税金等調整前四半期純利益	1,467,977	1,429,737
法人税等	467,337	449,739
四半期純利益	1,000,639	979,997
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,094	15,298
親会社株主に帰属する四半期純利益	994,545	964,699

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
四半期純利益	1,000,639	979,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	325,194	95,522
退職給付に係る調整額	△13,025	△16,434
その他の包括利益合計	312,169	79,088
四半期包括利益	1,312,808	1,059,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,298,325	1,044,311
非支配株主に係る四半期包括利益	14,483	14,774

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間より、非連結子会社であった株式会社テイ・エム・シーは重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,819,178	4,707,782	1,194,539	887,420	262,754	9,871,675	772,869	10,644,544
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	71,910	—	—	71,910	—	71,910
計	2,819,178	4,707,782	1,266,449	887,420	262,754	9,943,585	772,869	10,716,454
セグメント利益	421,149	590,993	222,839	28,774	16,417	1,280,174	116,105	1,396,280

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,280,174
「その他」の区分の利益	116,105
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,396,280

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,939,292	4,988,063	1,184,524	879,467	251,543	10,242,891	728,324	10,971,215
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	71,312	—	—	71,312	—	71,312
計	2,939,292	4,988,063	1,255,836	879,467	251,543	10,314,203	728,324	11,042,527
セグメント利益 又は損失(△)	453,421	631,859	165,637	33,692	△6,283	1,278,327	93,997	1,372,324

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,278,327
「その他」の区分の利益	93,997
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,372,324

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

(連結子会社の吸収合併)

当社は2023年12月8日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社星医療酸器関西及び株式会社星医療酸器東海を吸収合併することを決議し、2024年4月1日付で吸収合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

(吸収合併存続会社)

名称 : 株式会社星医療酸器
事業の内容 : 医療用ガスの製造販売

(吸収合併消滅会社)

名称 : 株式会社星医療酸器関西
事業の内容 : 医療用ガスの製造販売
名称 : 株式会社星医療酸器東海
事業の内容 : 医療用ガスの製造販売

(2) 企業結合日

2024年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社、株式会社星医療酸器関西及び星医療酸器東海を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社星医療酸器

(5) その他取引の概要に関する事項

株式会社星医療酸器関西及び株式会社星医療酸器東海は、当社グループにおいて医療用ガスの製造販売事業を行ってまいりましたが、グループにおける業務運営の効率化及び円滑化の一環として、経営資源の集約化を図り市場の変化や顧客ニーズに適切かつ迅速に対応出来る体制整備と、併せて当社の知名度を活用した効果的な営業展開を行うことを目的として、当社が株式会社星医療酸器関西及び株式会社星医療酸器東海を吸収合併することといたしました。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理いたしました。